

なでしこ

朝晩の寒暖差が大きくなり、体調をくずして鼻水や咳の出る子どもたちが増えています。暦の上では11月8日立冬を迎え冬ももうそこまで、と同時に冬の感染症流行の季節が近付いてきました。季節の変わり目、しっかり手洗いうがいで感染対策を継続しつつ、衣服の調節もしながら戸外で元気いっぱい遊べるようにしたいですね。



“なでしこ”にまつわるお話し

*当院病後児保育室だよりのタイトル「撫子（なでしこ）」はタイトルのかみにあるように、花姿が小さく、色も愛すべき可憐なところから、愛児のように撫（な）でていくしむ花の意でこの名があるとされています。

*その「なでしこ」は秋の七草のひとつでもあること、ご存じですか？春の七草は1月7日にお粥に入れて食べることでよく知られていますが秋の七草は姿を愛でて、過ごしやすい季節の到来を喜ぶものなんですね。お天気のいい日、子どもたちといっしょに思わず撫でたくなるような可愛らしい花を探しに出かけてみるのもいいかもしれませんね。

*私たちもお家の方と同じ思いで、大切なお子さまの健康や育ちをいっしょに考え、いつくしみ、守っていけるよう…そんな願いをこめた「なでしこ」のお話でした。

利用申込兼同意書は福井市子育て支援ホームページより

ダウンロードできます [福井市 病児保育](#) で検索してみてくださいね

【インフルエンザ予防接種】



今年は例年より早くインフルエンザの流行期に入っています。と同時に新型コロナウイルスもいまだ流行中です。感染予防は以前と変わらず手洗い、手指消毒、マスク着用などを心がけましょう。また、インフルエンザは風邪よりも症状が重く、感染力も強いので予防接種を受けておくとながーかかっても軽い症状で済むので安心です。

インフルエンザは2回の接種が必要

小さな子どもは免疫がつきにくいので、2回の接種が必要です。効果を十分に上げるためには、1回目と2回目の接種間隔を4週間あげると良いとされています。（生後6ヶ月から受けられます。大人は1回接種、13歳以下の子どもは2回接種。）

効果が十分にでるのは2回目接種から約2週間

乳幼児は有効な免疫ができるのに2回目接種から2週間かかります。インフルエンザの予防接種の効果は約5ヶ月。早めに接種しましょう。



【感染性胃腸炎～吐物の始末に便利なもの～】

これから寒い時期になると、例年感染性胃腸炎が流行します。胃腸炎は家族など周りへの感染力がとても強いので、吐いた後の消毒はとても大切です。吐物の処理にあると便利な「**ゲーゲーセット**」。バケツに以下のものをいれておくと、いざというときに便利です。



- バケツ
- 塩素系消毒液（キッチンハイター）
- ビニール袋
- キッチンペーパーや古い布、新聞紙
- マスク
- 使い捨てビニール手袋

※次回号ではさらに詳しく吐物の処理や消毒の仕方についておはなしします。

住所：福井市和田中町徳万 26 番地

TEL：0776-30-0300